

よい豚のもとをたどればよい種豚



国産純粋種豚改良協議会だより



種豚の選抜に育種価を
活用しましょう!!

第3号 2018.4.17 発行

4月です。日本では新年度スタートをする箇所が多いですが、東南アジアのタイでもお正月「ソンクラーン」の月です。今年度も皆様、よろしくお願いいたします。

新規会員の御紹介です!!

平成30年4月入会、ということで1名の生産者と2つの都道府県が正式に会員として入会して頂けることになりました。御紹介致します。

・株式会社 堀江ファーム (千葉県富里市) 様

中ヨークシャー種を中心に一貫経営を行われています。以降新しく本協議会でも取り組む中ヨークシャー種の改良について、我が国におけるキーパーソンの方です。

・栃木県農政部畜産振興課 (栃木県宇都宮市) 様

栃木県は平成29年3月28日、県内においてオーエスキー病浄化達成をされています。当協議会星会長のおひざ元でもあり、今後ますます強固な協力体制をお願いしたいところです。

・沖縄県農林水産部畜産課 (沖縄県那覇市) 様

アグーで有名な沖縄県ですが、アグー以外の品種でも養豚は盛んです。実は、既に会員である独立行政法人 北海道立総合研究機構畜産試験場様と沖縄県様の御入会で、本協議会、ほぼ、オールジャパンとなりました。なお、実際の事業実施主体は沖縄県家畜改良センター (沖縄県国頭郡国頭村) 様となります。

新会員の皆様、どうぞ国産純粋種豚改良協議会へ新たな喝をよろしくお願いいたします!!

※会員で副会長の山田様の農場名が株式会社 山田 B.F に変更になりましたのでお知らせ致します。
(住所、連絡先等は変更ございません。)

銘柄豚認定 WG 委員 決定しました!!

協議会だより第1号及び第2号にて募集致しました、国産純粋種豚銘柄豚認定 WG 委員について、下記の方にお願いすることに決定致しました。委員の方には近日中に改めてご案内申し上げる予定です。また、この WG で(仮称)サポーター会員制度についても検討して行く予定です。会員及びオブザーバーの皆様からの御意見やご要望もお待ちしております。事務局までよろしくお願いいたします。

【生産者会員】

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ①株式会社 シムコ 木全 誠氏 | ②株式会社 山田 B.F 山田 文晴氏 |
| ③淋種豚場 淋 博道氏 | ④株式会社 ファームテック 相馬 善弘氏 |

【都道府県研究機関会員】

- ①沖縄県 農林水産部 畜産課 小橋川 寛氏

国産純粋種豚改良協議会の現在の会員数は、生産者会員が24名、団体及び試験研究機関会員が当協会含め8名です。オブザーバー会員は9名となっております。正会員への変更手続き、また新規御入会希望の方の御紹介など、お待ちしております!!

新・学識経験者に東北大学大学院 鈴木啓一教授

協議会の活動と改良のますますの推進を図るために、今年度より新しく、東北大学大学院 鈴木啓一教授に学識経験者をお願いすることになりました。先生も快く引き受けて下さり、佐藤先生と鈴木先生に御助言をいただけるという、非常に心強い体制となった国産純粋種豚改良協議会です。

ここで、鈴木教授について改めてご紹介させていただきます。



鈴木 啓一教授

<学歴>

昭和 49 年 3 月	東北大学農学部畜産学科卒業
昭和 54 年 3 月	東北大学大学院農学研究科畜産学専攻修了 農学博士学位取得
昭和 55 年 4 月	日本学術振興会奨励研究員
昭和 58 年 4 月	宮城県畜産試験場技師
平成 13 年 4 月	宮城県畜産試験場総括研究員
平成 14 年 4 月	東北大学大学院農学研究科動物遺伝育種学分野助教授
平成 18 年 12 月	東北大学大学院農学研究科動物遺伝育種学分野教授
平成 27 年 3 月	東北大学大学院農学研究科定年退職
平成 27 年 4 月	東北大学大学院農学研究科家畜生産機能開発学寄附講座教授
	現在に至る

<研究経歴>

昭和 58 年 4 月～平成元年 3 月

- ・ランドレース豚の系統造成試験
- ・豚体の赤肉割合推定法に関する研究

平成元年 4 月～平成 4 年 3 月

- ・豚のエネルギー要求量に関する研究
- ・豚肉質に関する遺伝と飼料の効果に関する研究

平成 4 年 4 月～平成 14 年 3 月

- ・肉質重視のデュロック種の系統造成試験

平成 14 年 4 月～平成 27 年 3 月 東北大学大学院農学研究

- ・豚の産肉肉質に関する QTL 解析
- ・ランドレース豚の MPS 選抜試験(ミヤギノ L2)
- ・MPS 選抜豚の免疫学的特性と QTL 解析
- ・海藻・甘草等未利用資源給与による豚の免疫能活性化
- ・民間種豚場の繁殖・産肉形質の改良
- ・マウスの免疫能選抜試験
- ・マウスの酸素消費量選抜試験
- ・黒毛和種牛のゲノム情報を用いた育種改良と肉質に関する研究
- ・豚の慢性疾病に関わる免疫調節機構の解明と高抗病性種豚の開発
- ・豚肉、牛肉の美味しさに関する指標の探索研究

鈴木教授といえば、しもふりレッドの研究開発が有名だけれど、肉質だけでなく繁殖形質の研究も力を入れていらっしゃる!!



国産純粋種豚改良協議会 会員・オブザーバー会員 紹介

協議会だより第1号で募集しました会員・オブザーバー会員の紹介について、まだの皆様、担当者の方のお写真も忘れずに是非、お送りください。お待ちしております!!

1. 会員名

(独) 家畜改良センター宮崎牧場

現場管理者の方々

2. 代表者名

岡部 昌博 (場長)

3. 農場所在地

宮崎県小林市

4. 連絡先 (事務所所在地など)

事務所所在地：宮崎県小林市細野5157-29

電話：0984-23-3500

FAX：0984-24-0953

E-mail：nlbc_miyazaki@nlbc.go.jp

担当者：大西



5. 農場規模

母豚150頭 (D140頭、W10頭)

6. 繁殖品種

デュロック (ユメサクラ、ユメサクラエース、増体改良育種群)

大ヨークシャー

7. 販売可能頭数など

平成30年度の計画 (6ヶ月齢時)

ユメサクラ：4-5月、8-9月、11-12月、1-2月

ユメサクラエース：4-5月、6-7月、8-9月、11-12月、1-2月

D増体改良育種群：6-7月

大ヨークシャー：8-9月、11-12月

販売時月齢や頭数などのご要望があればお問い合わせください。

8. コメント

純粋種豚生産用として販売しています。

増体改良育種群は、国産純粋種豚協議会の会員および海外から育種素材を導入し、増体の改良を行っており、中には、大変すばらしい発育能力を発揮している豚もみられます。一日平均増体量 (30~105kg) の改良目標は2020年に1,250g/dの豚を作出することですが、改良途中の豚を販売することも可能ですので、ご入り用の際は、ぜひお声かけください。

また、現在、豚が餌を食べにくる度に体重・摂取量を自動でデータ収集・蓄積していくシステムであるnedap社のパフォーマンステストフィーダーを導入した豚舎を新設しており、今後は、飼料要求率などのデータ収集も行います。



ユメサクラ

ユメサクラエース



事務局からのお知らせ

★引き続き…国産純粋種豚改良協議会 呼称案募集中

国産純粋種豚改良協議会の活動が世界から注目される日も遠くありません!!そのための英称や英称に基づく呼称をつけたいと思います。只今、会員及びオブザーバーの皆様からの案を大募集中です。協議会がますます元気になるようなネーミングをお待ちしています。(応募先は事務局まで。)

また、協議会のロゴマークも募集中です。よろしくお願いいたします。

「国産純粋種豚改良協議会」は
平成 28 年 3 月 31 日、オールジャパンで
の種豚改良を目指して発足しました。

★平成 30 年度 種豚導入補助事業 ご案内

事務局である一般社団法人 日本養豚協会では平成 30 年度も種豚導入補助事業の事業実施主体をやることになりました。国産純粋種豚の能力底上げが根底の目標になった事業です。平成 29 年度も同様の事業があり、会員及びオブザーバーの方で事業参加されて、積極的に改良のための導入を行って頂きました。本事業単年度事業ではありますが、平成 26 年度から続いており、生産者間血縁構築にも有効作用しています。せっかくの補助事業です。協議会の目標達成の為に是非、有効活用しましょう。お問い合わせは事務局の湯浅までお願いします。

★協議会内部での種豚交流について

改良のスピードアップのための、ひとつの指標となる遺伝的能力評価精度を向上を図るためには、協議会員間での血縁構築が重要となってきます。是非、会員間で種豚交流を実施しましょう。御連絡いただければ会員にお知らせいたしますので事務局までお願いします。

★会員、絶賛募集中!!

より多くの種豚生産者に参加していただくことで、国産純粋種豚改良協議会の活動が盛り上がり、かつ、データがたくさん集まり、改良のスピードアップも狙えます。是非、入会をよろしくお願いいたします。協議会についてのお問い合わせもお待ちしています。

★産肉検定について

産肉形質改良のための素材となるデータ測定についても、積極的に実施をお願いしたいところですが測定機器が無いなどのお悩みについて、協議会一丸となって取り組んで行きたいと思います。是非、事務局へお問い合わせ下さい。全体で対策を検討したいと思います。

★国産純粋種豚改良協議会だより について

普段なかなか集まることのできない、会員及びオブザーバーの交流の場としても是非ご活用ください。掲載希望記事や掲載希望コーナーなどの御提案をお待ちしています。事務局までどんどんお寄せ下さい。また、改良に関する質問なども受け付けております。

(例:会員及びオブザーバーの紹介コーナー、会員及びオブザーバーに関するトピックコーナーなど)



【事務局のつぶやき】

平成 28 年度に実施した、家畜改良センターからの精液配布による肢蹄の改良取組みは想像以上の結果と反応がありました。そこで、今年度は是非、『あなたのお悩み解決します』ということで、成績(繁殖・肉質)はすばらしいが、乳器・生殖器がもうひとつ、体長がもう少しほしいなど、改良をひとりで抱えず協議会で実施してみませんか。導入補助事業と組み合わせ是非、実施したいと思いますので、うちの乳器をあと 2 個増やしてほしい、等お悩みの方はご提案のほど、よろしくお願いいたします。

※平成 29 年度までオブザーバー会員でありました

- ・ 富山県養豚組合連合会 様
 - ・ 全農畜産サービス 株式会社 様
- ですが、諸般の事情で退会されることになりました。

両名とも協議会には非常に関心をお寄せ頂いており、誠に残念です。是非、復帰して頂き、正会員となつて頂ける日を目指したいと思います。

国産純粋種豚改良協議会 事務局 一般社団法人 日本養豚協会 担当:小磯・湯浅・神長

〒1510053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2 階

電話:03-3370-5473 FAX:03-3370-7937 E-Mail:n.yuasa@pig-pins.com